



社会福祉法人 みなと寮

み な と

復刻版
第1号

発行：社会福祉法人 みなと寮 ホームページ <http://www.minatoryo.or.jp>

くようお願い申し上げます。

どうか、今後ともこの「みなと」を末永くご愛読いただき

こととなりました。

人の広報紙「みなと」をリニューアルして皆様にお届けする

より広く情報発信を行うべく、以前に発刊していましたが、こ

れまでホームページで公開していましたが、この機会に、

組みを行っています。法人の施設での活動については、こ

保険施設とも連動する形で、地域での様々な公益的な取り

者支援に取り組んできたノウハウを活かして、法人内介護

当法人では、これまで長年にわたり救護施設で生活困窮

ことにより、地域社会に貢献することが求められています。

の事業主体では対応できない様々な福祉ニーズを充足する

に動き出しました。経営組織のガバナンスの強化、事業運

営の透明性の向上等の改革を進め、社会福祉法人がこれま

で以上に公益性の高い法人として、社会福祉事業に係る福

祉サービスの供給確保の中心的役割を果たすとともに、他

社サービスの供給確保の中心的役割を果たすとともに、他



社会福祉法人みなと寮
理事長 大西豊美

まだまだ厳しい残暑が続いていますが、皆様におかれま

しては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、利用者様をはじめ地域の皆様、福祉関係の方々には、

日頃より当法人の事業運営に温かいご指導ご鞭撻を賜って

いますことに厚くお礼申し上げます。

広報紙「みなと」の発刊にあたって

社会福祉法人みなと寮は、昭和27年の法人設立以来、65年に渡って更生施設・救護施設の運営をはじめとした生活困窮者支援や特別養護老人ホームなどの介護保険事業に取り組んで参りました。これまでは、いずれも大阪府内での事業展開にとどまっていたのですが、この度、京都市の指定管理者として平成29年4月1日より更生施設「京都市中央保護所」(定員30名)の運営を受託し、はじめて大阪府域外で事業を展開することとなりました。

京都市中央保護所は、東本願寺の北側に位置する下京総合福祉センター内に設置され、下京区社会福祉協議会、下京区サービスセンター及び下京老人福祉センターが併設されているなど地域の福祉サービスの中心施設となっています。

昭和21年に旧生活保護法の保護施設として京都市の直接経営で事業を開始し、昭和25年の生活保護法の施行により更生施設として位置づけられました。そ



下京総合福祉センター

その後、平成23年度より指定管理者による運営に変更され、前指定管理者の受託期間満了により、当法人が指定管理者として運営を行っています。

当施設は、生活保護法に基づき、更生施設で身体上又は精神上の理由により養護及び生活指導を必要とする方を対象に、居宅での安定した生活に必要な訓練等を実施しているほか、生活困窮者自立支援法に基づく緊急一時宿泊事業(定員20名)を併設し、ホームレスやホームレスとなる恐れのある方に対して、一時的な宿泊場所や食事等を提供しています。

トピックス

平成29年度採用状況

新任職員研修会を実施

当法人では、毎年3月30日から4月1日の3日間で新任職員のための研修を行っています。社会福祉法人職員としての心構え、人権研修などの講義を法人職員が講師となって行います。

今年の研修会には、16名の新任職員が参加し、熱心に受講されました。



救護施設千里寮での研修1日目の様子

平成29年度 配属状況

4月	救護施設みなと寮	1名
	救護施設港晴寮	1名
	救護施設千里寮	2名
	特別養護老人ホーム愛港園	4名
	弘済院第1特別養護老人ホーム	3名
	更生施設京都市中央保護所	6名
	堺市居住生活サポート事業	2名
5月	救護施設りんくうみなと	1名
6月	特別養護老人ホーム愛港園	1名
	弘済院第1特別養護老人ホーム	1名
7月	特別養護老人ホーム第2愛港園	1名
8月	弘済院第1特別養護老人ホーム	1名
	救護施設りんくうみなと	1名

スケジュール

9月2日(土)	みなとフェスティバル (救護施設 みなと寮)
17日(日)	敬老祝賀会 (各介護保険施設)
27日(水)	階層別研修①
10月7日(土)	千里祭 (救護施設 千里寮)
24日	階層別研修②
11月9日(木)	階層別研修③
18日(土)	平成30年度4月採用者 内定式



本年度より事業部制を導入

法人事業のより一層の推進のため、また責任の明確化と効率的な事業推進を図ることを目的として、本年度より法人内組織として事業部を置くことと致しました。

事業部は、生活保護受給者や生活困窮者を対象とした事業を担当する「生活福祉事業部」と介護保険事業を担当する「介護保険事業部」の2事業部に分かれます。各事業部において、担当する業務の円滑な運営を図るため、それぞれの事業における中長期計画、年度計画の策定をはじめ、法人の運営方針、各施設・事業所の年度計画を着実に推進して参りたいと思っております。また、年間を通じて事業の実施状況を点検、評価するとともに、改善を加えながら円滑な業務の進捗を図っていきます。

【理 念】

1. 利用者一人ひとりの人格・人権を尊重し、自立支援を旨として社会福祉の増進に努めます。
2. 利用者本位の立場に立ち、常に笑顔でサービス提供し、顧客満足を追求します。
3. 「福祉の情報発信源」「地域交流の場」として地域福祉の拠点となり、社会貢献に尽くします。

【基本方針】

1. 積極的な情報公開を行い、透明性のある運営を行います。
2. 法令遵守に徹し、個人情報保護に努めます。
3. 職員は常に目標・ビジョンを持ち、継続的に業務改善に真摯に取り組み、自己改革・自己実現を目指します。
4. 社会福祉法人としての専門性を生かし、常に「well being」を実践しつづけます。

介護保険事業

川原田代表の「こんな状況だからこそ心の通う業務が必要ではないか？」という問いかけに私たち福祉従事者は、人間にしかできないホスピタリティの部分で、これまで同様に大事にしたいと改めて考えさせられました。

研修内容の周知及び情報共有の一環として、合同研修会を撮影した動画は YouTube の限定公開を活用しています。参加出来なかった職員がパソコン、スマホなどを使い、自由な時間に自由な場所で見ることができるよう工夫も行っていきます。

〔弘済院第1特別養護老人ホーム 川見 亮〕

合同研修会は、7月27日吹田市にある弘済院寿楽館にて行われ、46名が参加しました。

講師は長年にわたり法人と法務関係の顧問契約を結んでいた「おおさか法務事務所」の川原田慶太代表。研修テーマは「一司法書士が感じる時代の転換期」。世界的な規模における時代の大きな転換期を迎え、テクノロジーの発展がめざましい中、人間からIT・ロボット・AIに替わっていく分野が増えていく現状で、今後企業はどうなるのか。法務関係の仕事の行方、福祉のあり方まで、日本が直面する課題と広い視点での話をお聞きすることが出来ました。



合同研修会の様子

合同研修会を開催

介護保険事業部では人材の育成とサービスの質の向上を目的として、法人内の施設・在宅事業所の職員を対象にした合同研修会を実施しています。

平成29年度第1回の



納涼会の様子

〔特別養護老人ホーム愛港園 坪内孝暢〕

日々の生活を送る中で、季節を感じ、メリハリを準備しています。季節を感じ、メリハリのある生活を過ごしてもらえようように職員も日々試行錯誤の毎日です。

愛港園 納涼会

愛港園では毎年恒例の納涼会を開催し、利用者・ご家族を中心に多くの皆様が来られ楽しいひとときを過ごされました。

新任職員らによる御神輿では元気なかけ声で各居室をまわり、お祭り気分を盛り上げたあとはお待ちかねの食事の時間です。

屋台を設置して定番のたこ焼きにパンケーキ、柔らかい焼き肉、ちらし寿司、アイスクリームとたくさんメニューに目移りする姿も見られました。誰でも楽しめるゲームコーナーとして水槽の中の的を狙う「コイン落とし」や磁石で釣る「魚釣り」にご家族と一緒に楽しむのが笑顔で楽しんでおられました。

「おなががいっぱいや」「食事が美味しかった」と嬉しい感想を聞かせていただき、次は何を企画しようかと施設としても色々と思いを巡らせています。

港区南部地域包括支援センター

最寄り駅：大阪市営地下鉄中央線「朝潮橋」駅西改札4番出口より徒歩2分

〒552-0015 大阪市港区池島1丁目1番18号

電話. 06-6536-8162

港区南部地域包括支援センターの紹介

看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3専門職が、地域で暮らす高齢者の方々が住み慣れた町で安心してその人らしい生活が続けられる様に、さまざまな関係機関と協力しながら支援する身近な総合相談窓口です。

介護保険サービス、介護予防、消費者被害、成年後見制度、高齢者虐待、生きがいづくり等の幅広い相談に対応しています。

また、認知症対応の専門チームとして『みなとオレンジチーム』がセンター内に設置されています。医療職、介護職、チーム医師で構成されており、認知症の方を、専門医療機関への受診や介護サービスの利用へと繋がります。地域で認知症の方の見守りができるよう、地域関係者とのネットワーク構築を専門に行う認知症地域支援推進員も配置されています。



港区南部地域包括支援センター

生活福祉事業

平成29年7月3日〜4日に法人内の5カ所の救護施設の合同行事『林間学校』として、白浜温泉に出かけました。

林間学校の出発当日。とても楽しみにしている方が多く普段より早く起きて、出発時間まで待ち遠しい様子でした。観光先は、とれとれ市場南紀白浜・千畳敷・和歌山鉄道・黒潮市場などのいろいろな場所に立ち寄り、きれいな景色を観て楽しんだり名産物を食べ歩きしたりしていました。宿泊先は、白浜温泉「むさし」。夕食の宴会では海の幸に舌鼓を打たれ、毎年恒例のビンゴゲーム大会も大盛況でした。



アドベンチャーワールド

今回の林間学校では、普段会話と実感しませんでした。ただ気分転換を図るだけでなく、他者との交流を深めて社会性を養ってもらおう。林間学校を通じてとても重要な交流の時間だと実感しました。

〔救護施設 みなと寮 塔本真也〕

この林間学校は法人内救護施設が合同で長年に行っている宿泊行事です。以前は、鉢伏高原の民宿に施設毎に宿泊し、観光やキャンプファイヤー・朝の散歩やラジオ体操・餅つきなどを合同で行っていました。

しかし、近年は利用者の高齢化や障がい者の重度化などから階段の上り下りが大変になったこともあり、宿泊先をバリアフリーの整ったホテルへ変更し、同じ観光地巡りや、食事を共にすることで施設間の交流の場として継続しています。

この『林間学校』が法人の伝統行事として、行き先や行事の内容は時代の流れや利用者の希望等により変化していくと思いますが、これからも継続できるように取り組みたいです。

〔救護施設りんくうみさと尾花昌昭〕



昨年度に引き続き、吹田市就労準備支援事業を委託しました。

就労準備支援事業は、生活リズムが崩れている、他人との会話がうまくできない、プランクが長い、ため働く自信がもてないなど、就労に向けた基礎的な準備を必要とする人たちを対象としています。

千里寮では昨年8月に千里寮就労準備支援室を開設し、次のステップを目指す利用者（定員15名）が内職作業や畑作業、グループワークなどのプログラムに参加しています。その他、美術や即興音楽のワークショップなど、表現に関するプログラムがあるのも特徴のひとつです。また、千里寮や地域の他の協力機関での就労体験にも力をいれています。このようにさまざまなことに挑戦してもらいながら、それぞれがもつ潜在能力を引き出し、一人ひとりが生き生きと生活できるようにサポートするのが私たちの目指すところです。〔千里寮〕



即興音楽の専門家講師とした「表現のワークショップ」

公益的な取り組み

毎号シリーズで公益的な取り組みをご紹介します。初号は、第2港晴寮の取り組みです。

第2港晴寮では、地域における公益的な取組として総合相談窓口の設置を行い相談支援員を配置し生活困窮問題に関わらずさまざまな地域の福祉ニーズに対応しています。

具体的には、①大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）に参画し、施設に配置したコミュニケーションソーシャルワーカーと大阪府社協が配置した社会貢献支援員が連携し、ワンストップ、アウトリーチによる生活困窮者に寄り添った総合相談と緊急時の食材購入など現物給付による支援を行っています。②いわゆる中間的就労にあたる認定就労訓練事業には現在2名の方が利用され、施設の業務を切り出し、一般就労へ向けた段階的な訓練を行っています。③生活困窮者自立相談支援事業への協力として、子供の学習支援のための施設スペースの開放を始め社会福祉協議会などと連携し生活困窮者支援を行っています。

救護施設を運営し培ってきたノウハウを地域で発揮できるよう今後も積極的に努力をしていきます。